

2024 大学祭が開催されました

10月12日（土）から13日（日）にかけて、2024年度大学祭「Colorful!!」が開催されました。両日快晴に恵まれ、中庭ステージでは各サークルがパフォーマンスを披露し、各教室や小ホールでは各出展団体が趣向を凝らした催し物を実施し、大いに盛り上がりました。

今年度は「大学祭実行委員会」とそのOGが初めて食品販売にチャレンジしたり、例年とは違う新しいゲームを企画したりと学生たちの工夫が見られ、学生達の個性あふれる、テーマ通り colorful な大学祭となりました。

弓道部が全日本学生弓道選手権大会決勝戦に出場しました

8月23日（金）から24日（土）にかけて、本学弓道部がグリーンアリーナ神戸で開催された第72回全日本学生弓道選手権大会（近的大会）決勝戦に出場しました。大会出場者約5,000人の中、本学弓道部は団体戦と個人戦ともに予選を勝ち抜き、下記のとおり成果をあげました。

大会結果

◆女子団体戦 ベスト16

◆女子個人戦 佐藤乃絵留さん（現代ビジネス学科3年生） ベスト13

各サークルの紹介やSNSリンク先はこちらからご覧いただけます▶



「誰一人取り残さない」MGUの就職支援

11月2日（土）に「保護者のための就職支援セミナー」を開催いたしました。「全体セミナー」「学生インタビュー」「個別相談」の3つのプログラムを柱に、就活生を抱える保護者の皆様が学生とどのように向き合ったらよいのか、そのヒントをつかんでいただく機会にしたいと例年開催しています。

「全体セミナー」では「キャリア・就職最新事情」と題して、株式会社アフターリクルーティング 代表取締役 池谷昌之氏にご講演をいただきました。現在の就職活動がどのようなものなのか、企業の採用支援も行っている池谷氏の、企業側・大学側の両方の視点からのアドバイスは、新鮮でありながら、深く納得させられる講演でした。

「学生インタビュー」は、一般企業・公務員／管理栄養士／保育士・幼稚園教諭／教員の4会場に分かれて、すでに就職活動を終えた学生達にどのような就職活動をしてきたか、家族とはどう関わってきたかといった、ここだけの話を、ご参加の保護者の皆様からの質問にも答えながら話してもらいました。

「個別相談」で設定した15枠は、予約の段階でほぼ満員となりましたが、保護者の皆様の想いを聴かせていただき、学生の情報を

共有させていただくなど、今後の本学のキャリア支援にも大きく繋がるものとなりました。

保護者のための就職支援セミナーは毎年11月の第1土曜日を予定しております。

来年は秋も深まる美しいキャンパスの本学にお越しくださいますと幸いです。



宮城学院女子大学後援会事務局（大学事務部庶務課内）

〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1

TEL 022-279-4698 FAX 022-279-7566 E-mail syomu@mgu.ac.jp



宮城学院女子大学後援会会報

MIYAGI GAKUIN S SUPPORTERS REPORT 2024

vol.12

保護者の皆様へ

後援会会長
高橋 博

後援会会報の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、昨年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法での位置づけが5類に移行し、徐々にではありますが、コロナ禍前の日常に戻りつつあるものと推察いたします。

毎回申し上げておりますが、後援会は大学と家庭の連絡を密にし、宮城学院女子大学大学院、女子大学発展の為に後援することを目的としております。

本会は上記の目的を達成するため、保護者の皆様からご協力いただきました貴重な財源を基に学生と大学に対して種々の助成を行っております。

今年度は5月25日に後援会総会を開催し事業計画や収支予算を承認いただきました。

当日は総会に先立ちまして音楽科によるミニコンサートが開催され、パイプオルガン及び音楽科の学生や研究生によるメゾ・ソプラノ独唱・ピアノ独奏をお聴きいただき素晴らしいひと時を過ごすことが出来ま

した。また、昼食には食品栄養学科の学生がメニューを考案したお弁当をお配りし、大変ご好評をいただきました。

総会終了後には学生部長およびキャリア支援部長より、学生生活やキャリア支援に関する報告、また「学長賞」受賞者による成果発表が行われ、それぞれに高評価をいただきました。

さらには、5年ぶりに山形・福島・青森・岩手・秋田の全5地区で地区後援会を開催することが出来ました。地区後援会は、宮城県外にお住いの保護者の皆様との情報の共有と連携を保つことを目的としております。学長をはじめ多くの大学関係者が出席し、直接対話が出来た絶好の機会です。会では、後援会活動・大学の近況報告の他就職状況・学生の就職活動体験談などを実施しており、参加された保護者の皆様からは「満足」との評価をいただいております。一方で、残念ながら保護者の方々の参加が少ないことが課題と捉えております。総会並びに地区後援会により多くの保護者の皆様にお気軽にご参加いただきたいと思います。

後援会として、学生の皆さんが充実した学生生活を送ることで貴重な4年間を過ごせるように、且つ大学が益々発展することを念頭に活動してまいりますので、保護者の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

結びに、保護者の皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

学長
長谷部 弘

今年も無事に本学の教学活動を推進することが出来ますのも、後援会の皆様のご支援あればこそと、心から感謝いたします。本学は、キリスト教の福音を建学の精神として掲げ、学生の皆さんに女性が自立して生きていくための知識、技量、そして知恵を獲得していただくことを使命としている大学です。本学をとりまく環境は非常に厳しいものがあります。今後とも学生の皆さんが安心してキャンパス生活を送っていただけるよう環境整備に取り組んでいく所存であります。

さて、本学は、現在いくつかの課題に取り組んでいます。一つは学部や学科の改組再編事業です。2016年度以来の改革となりますが、今後は長期的かつ不断に取り組んでいかなければならない取り組みで

す。今回の改組は観光ビジネス学科の新設と英文学科の英語文化コミュニケーション学科への改組となります。学部学科の改組や新設は、準備を始めて2年以上の時間を必要とします。目的と方向が定まらない現在の日本社会の中で、次代を担う若い世代の方々が大学教育に何を求めているかを先取りし、対応することが求められています。

本学は、学則で「北日本における学術文化の向上と社会及び家庭生活の改善進歩を実現し、且つ、国際精神の育成につとめる」ことを謳っています。現在、海外からのインバウンド需要がたいへん好調で、宮城県や東北各県も、インバウンドを視野に入れた観光産業ないし観光関連産業を育成しようとしています。今後、地域の観光資源の開発（再開発）やその事業展開の担い手になる人材、また英語をはじめとする言語文化コミュニケーション能力を修得し地域で活躍できる人材が必要とされることは間違いありません。2026年、宮城学院創立140周年の節目の年に発足予定の新学科にご期待ください。

さらに女性の生き方支援を目指すジェンダー教育研究センター（仮称）も現在設置準備中です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2024年度 大学後援会総会

大学後援会総会は、年1回保護者の方々に向けて大学の取り組みを紹介する機会として開催しています。

大学後援会総会は、年1回保護者の方々に向けて大学の取り組みをご紹介させていただく機会として、様々な企画を行っております。今年度は2024年5月25日（土）に本学キャンパスで開催し、約110名の保護者の方々にご参加いただきました。



礼拝の後、音楽科によるミニコンサートで幕を開け、礼拝堂にてステンドグラスと音楽の空間をお楽しみいただきました。本学オルガニスト・飯塚由美氏によるパイプオルガンの演奏のほか、音楽科3年生によるメゾ・ソプラノ独唱や、音楽科研究生によるピアノ独奏などが披露されました。



昼食には、「噛む食感を楽しみながら栄養をしっかりと摂る」をコンセプトとして、食品栄養学科の学生がプロデュースした「カム弁当」をお配りいたしました。栄養バランスと味、そして噛み応えのある献立メニューは、多くの皆様にご好評をいただきました。



総会は、高橋博会長による開会挨拶から始まり、長谷部弘学長による挨拶、2023年度事業報告および収支決算報告、2023年度会計監査報告、2024年度事業計画（案）および収支予算（案）ならびに役員の選任を審議し、すべて承認されました。



総会後は、戸野塚厚子学生部長（教育学科教授）による学生生活に関する報告、丹野久美子キャリア支援部長（食品栄養学科准教授）によるキャリア支援に関する報告を行い、普段の学生の活動の様子をご紹介いたしました。



引き続き、学長賞を受賞した学生による成果発表を行いました。「学長賞」は2018年度に創設され、他の学生の模範となる功績のあった学生を表彰しています。今回は、現代ビジネス学科の2つのゼミと放送部が、「福島県会津地方の食と伝統を繋ぐプロジェクト」や「仙台・東北学生ドライブスタンプラリー」などの活動の様子を報告しました。保護者の皆様には、直接学生の活動をご覧いただく機会となり、温かく見守っていただきました。



学科別クラス懇談では各会場にわかれ、学修内容や学生生活など、保護者の皆様と学科の教員が和やかに懇談する様子が印象的でした。就職個別相談では、就職活動のスケジュールや家庭でのサポートなどについての質問があり、新卒採用を取り巻く変化について職員よりご説明いたしました。



大学後援会総会と関連イベントは、例年5月下旬に開催しております。今年度でご参加いただいた皆様よりお寄せいただいたアンケートをもとに、来年度もさらにご満足いただけるよう企画してまいります。たくさんの方にご参加いただければ幸いです。

【大学後援会総会参加者の声】参加者アンケートから抜粋

音楽科ミニコンサート

・学生さんが一生懸命で素晴らしいかったです。

学生部報告・キャリア支援部報告

・進路について知りたかったので、とても参考になりました。

学長賞受賞者による成果発表

・日々の努力が良く伝わりました。発表も堂々としていて、すばらしいです。
・学生さんの頑張っている姿を、発表を通して感じることができました。

学科別クラス懇談、就職個別相談

・学校での様子や、先生の学生に対しての印象が聞けてよかったです。
・担任の先生と話ができるのが良い。

その他

・不安に感じていたことが、大分安心出来ました。
・人間力を高める教育に努めている様子がわかり安心しました。
・お弁当（食品栄養学科の学生プロデュース）の味付けが良く、とてもおいしくいただきました。

2024年度

地区後援会

地区後援会は、本学キャンパスを会場に行われる後援会総会へ出席いただけなかった県外にお住いの保護者の皆様と、懇談を交えながら大学の情報を共有し、緊密な連携を保つ機会を設けることを目的に開催しています。

2024年度の地区後援会は、東北地区の各会場（8月24日山形市、8月25日福島市、8月31日青森市、9月1日盛岡市、9月7日秋田市）で開催しました。今年度は、コロナ禍以降、5年ぶりに東北5県での全県開催が実現しました。

第一部では、大学後援会会長の開会挨拶、学長挨拶をはじめ、大学後援会役員による後援会活動報告、副学長による本学の近況報告、就職支援担当から本学の就職状況についての説明を行いました。続いて、在学生による就職活動体験談をインタビュー形式でご紹介しました。大学での学びからご家族との関わり方に至るまで、学生自身の就職活動や学生生活の様子が語られ、保護者の皆様には大変関心高く熱心に耳を傾けていただきました。

第二部では学業や就職活動について、ご希望に応じて担当職員へ質問や相談をしていただく個別相談会を実施しました。アンケートでは、「参加してよかった」「大学が近く

感じた」「来年もまた参加したい」とご好評をいただきました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

地区後援会参加者アンケートより

- ◆あまり大学に行く機会がないので、様子がわかってよかったです。
- ◆子どもがどのような大学に進学したか知ることができて安心しました。
- ◆大学の様子もわかり、保護者同士の意見交換もできとても良かったです。
- ◆内定者インタビューで、最近の就職活動の傾向がよく理解できました。大学との距離感が縮まったように感じました。



8/31 青森



8/24 山形



9/1 盛岡



8/25 福島



9/7 秋田